

## 2-91 研究支援組織の整備状況

### 1. 大原社会問題研究所

#### (1) 研究体制

研究所の最高の意思決定機関として運営委員会がある。さらに、業務の円滑な実施を図るために事務会議がある。運営委員会は、当研究所の所長、専任研究員に加えて、法政大学の多くの学部から委員を選出してもらい、月に一度、開催している。事務会議には、所長、専任研究員、専任職員、嘱託職員が出席し、基本的には月に一度、必要があれば随時、開催されている。毎年2月には専任研究員、兼任研究員、兼任研究員、名誉研究員(5名)、嘱託研究員(115名)が参加して、研究員総会が開催されており、一年間の研究所の活動報告を行い、それに対する意見を聴取している。さらに、正式な機関ではないが、日常業務についての連絡・調整を図るため、専任研究員と兼任研究員が参加する研究員会議や臨時職員会議も、月に一度、開かれている。

#### 【運営委員会組織図】 (2018年度)

所長	鈴木 玲	専任研究員(教授)
副所長	鈴木 宗徳	社会学部教授
専任研究員	鈴木 玲	教授
	榎 一江	教授
	藤原 千沙	教授
任期付専任研究員	清水 善仁	准教授
兼任研究員	荒井 容子	社会学部教授
	後藤 浩子	経済学部教授
	愼 蒼宇	社会学部准教授
	鈴木 宗徳	社会学部教授
	進藤 理香子	経済学部教授
	沼田 雅之	法学部教授
	原 伸子	経済学部教授
	岩田 美香	現代福祉学部教授

#### (2) 研究会・プロジェクト

現在進行中の研究会・プロジェクトは以下のとおりである。

- ① 環境・労働問題研究会(代表・鈴木玲)
- ② 女性労働研究史研究会(代表・藤原千沙)
- ③ 大原社会政策研究会(代表・藤原千沙)
- ④ 社会問題史研究会(代表・榎一江)
- ⑤ 無産政党資料研究会(代表・榎一江)
- ⑥ 環境・市民活動アーカイブズ資料整理研究会(代表・清水善仁)
- ⑦ 現代イギリスの福祉改革と排除の問題プロジェクト(代表・鈴木宗徳)
- ⑧ 環境政策史の学際的研究プロジェクト(代表・西澤栄一郎)

- ⑨ 労働組合法上の「労働者」に関する歴史的総括と新たな解釈の可能性プロジェクト(代表・沼田雅之)
- ⑩ 子どもの労働と貧困－理論・歴史・現状プロジェクト (代表・原伸子)

## 2. 日本統計研究所

法政大学日本統計研究所には専任の研究スタッフは配置されておらず、学部との兼務（兼担）による研究所員（所長を含む）及び外部の客員研究員から研究メンバーは構成されている。定期的に行われる運営委員会によって承認された研究所研究プロジェクトの他に、研究所員をコアメンバーとして各種の科研プロジェクト等を立ち上げ、遂行している。また、『研究所報』をはじめとする各種刊行物については、研究所員、客員研究員以外にも学界、政府統計機関の統計関係者にも研究成果公表の場を提供している。

### 研究組織

兼担研究員 所長	菅 幹雄 (経済学部教授)
兼担研究員	小沢 和浩 (経済学部教授)
	坂本 憲昭 (経済学部教授)
	牧野 文夫 (経済学部教授)
	中村 洋一 (理工学部教授)
	北浦 康嗣 (社会学部准教授)
	中村 律子 (現代福祉学部教授)

## 3. 野上記念法政大学能楽研究所

### (1) 研究組織

所長・専任所員	山中 玲子 (能楽研究所教授。東京生まれ。東京大学人文科学研究科国語国文学博士課程単位取得満期退学。博士(文学)。能の小書演出の研究、中世から近世・近代にいたる都市と能楽の関係についての総合的研究。)
専任所員	宮本 圭造 (能楽研究所教授。1971年大阪生まれ。大阪大学大学院文学研究科演劇学専攻修了。博士(文学)。中心的な研究テーマは能楽史、芸能史、能面史など。)
兼担所員	伊海 孝充 (文学部教授)
	林 容市 (文学部専任講師)
	鈴木 靖 (国際文化学部教授)
	竹内 晶子 (国際文化学部教授)
	高村 雅彦 (デザイン工学部教授)

	伊藤 克亘 (情報科学部教授)
兼任所員	表 きよし (国士舘大学 21 世紀アジア学部教授)
	豊島 正之 (上智大学文学部教授)
	高橋 悠介 (慶應義塾大学ス道文庫准教授)
	マイケル・ワトソン (明治学院大学教授)
	横山 太郎 (跡見学園女子大学准教授)
	中司 由起子
	深澤 希望
客員所員	トーマス・ヘヤ (プリンストン大学教授)
	ポール・アトキンス (ワシントン大学シアトル校アジア言語文学科教授)
事務	西條 勝江
	木元 里美
	力丸 彩子

## (2) 研究支援

能楽研究所では、能楽研究を支援するため、以下のデータベースを公開しています。

### a. [能楽資料デジタルアーカイブ](#)

能楽資料デジタルアーカイブでは、能楽研究所蔵貴重資料を鮮明な画像で見ることができます。画像をより見やすい環境で公開するために、資料ごとに拡大・縮小など、様々な機能がついています。今後も順次画像を追加し、より充実した内容にしていく予定です。

### b. [演能データベース \(国文学研究資料館\)](#)

演能データベースは、『古之御能組』『江戸初期能組』『御城諸家御能組』『寛文御能組』『元禄御能組』『大阪勧進能組』『日光御社参祝儀御能組』『触流し御能組』などを基にした、文禄二年(1593)～文久二年(1861)までの演能記録のデータベースです。簡易検索からは西暦・演目・シテの三項目、詳細検索からは和暦・ワキ・助演者・資料名などから検索ができます。

## 4. [情報メディア教育研究センター](#)

### (1) 研究組織および運営委員会

<http://www.media.hosei.ac.jp/organization/>

### (2) ラボラトリ

ラボラトリには、常時数テーマの研究プロジェクトが占有して利用できる最先端のプライベート・クラウド方式コンピューティング環境が設置されています。また数十のアプリケーションソフトウェアが導入され、機械系解析から化学系解析あるいは経済シミュレーションなど幅広い研究を実施することができます。

このラボラトリ設置の目的は、学内や国内外の研究者によって提供される計算科学に関する最先端の研究テーマを研究プロジェクトとして実施することです。研究プロジェクトには、本学の大学院生

が参加できる体制を整えており、国内外の研究者の指導の下に研究の手法を学ぶことにより次世代を担う実践的な研究者を育成します。

### (3) 研究プロジェクト

ICT を駆使する計算科学および情報メディアを活用する教育システムなど ICT が関わる分野の研究および開発を行っています。

教育システムの分野では、授業支援システム、遠隔講義システムおよび教育コンテンツに関する研究が行われ、教育の場にその成果をフィードバックし ICT 時代に合った教育の推進に貢献しています。また、計算科学の分野では、宇宙で使われる構造物の解析、分子動力学解析、環境汚染解析など、実験では解析が困難なテーマをコンピュータシミュレーションで研究しています。

研究プロジェクトの詳細は、次の研究プロジェクトのページを参照してください。

<http://www.media.hosei.ac.jp/project/>

また、研究プロジェクトで得られた成果は研究報告とし次のページで公開しています。

<http://www.media.hosei.ac.jp/bulletin/>

## 5. 沖縄文化研究所

本研究所は、所長（本学教授かつ本研究所所員から選出。任期 2 年）、専任所員（2 名）、兼担所員（本学教員で所員を兼ねる者。9 名）、兼任所員（本学以外の研究・教育機関の教員その他で所員を兼ねる者。6 名）、客員所員（大学を退職した教員等で所員を兼ねる者。14 名）、国内研究員（国内に在住する者で沖縄研究に従事している者。197 名）、客員研究員（国外に在住する者で沖縄研究に従事している者。21 名）、奨励研究員（将来すぐれた業績をあげることの期待できる大学院生。17 名）の研究スタッフから構成されています。

所長と専任、兼担、兼任の各所員が研究活動における主要スタッフとなりますが、調査・研究プロジェクトの目的などによっては、国内・客員・奨励研究員も共同研究に参加しています。特に、沖縄・奄美地域の現地調査においては、現地在住の国内研究員の協力は欠かすことができません。

教育組織という点については、『奨励研究員制度』を設け、若手研究者の育成を目指しています。本制度は、沖縄研究に従事し、将来すぐれた業績をあげることが期待できる大学院生を対象に、研究所の蔵書を自由に閲覧できる優遇措置を与えると同時に、各種調査研究プロジェクトに参加の機会を与えるというものです。また、大学院国際日本学インスティテュートにおいても、いくつかの「沖縄学関連講義」を展開し、論文指導を含め、大学院生の教育にあたっています。その他、「おもろ研究会」、「沖縄民俗懇話会」、「沖縄方言を学ぶ会」、「八重山資料研究会」等の研究会を開催しており、こうした研究会に奨励研究員をはじめとする学生・大学院生に積極的な参加を呼びかけ、人材養成を図っています。また、これまでの科学研究費補助金による調査・研究にも数名の大学院生が参加しました。

このように、優れた大学院生を奨励研究員として選定し、各種研究会や調査・研究プロジェクトに参加させることによって若手研究者の人材育成を図っています。

所長	中俣 均（文学部教授）
専任所員	大里 知子（4 月から） 矢野 美沙子（10 月から）
兼担所員	今泉 裕美子（国際文化学部教授）
	杉田 敦（法学部教授）
	曾 士才（国際文化学部教授）

	高柳 俊男 (国際文化学部教授)
	田中 優子 (社会学部教授)
	朴 賛弼 (デザイン工学部助手)
	間宮 厚司 (文学部教授)
	鈴木智之 (社会学部教授)
兼任所員	大里 知子 (自由学園兼任講師)
	島村 幸一 (立正大学文学部教授)
	竹内 重雄 (法政大学非常勤講師)
	福 寛美 (法政大学非常勤講師)
	宮平 真弥 (流通経済大学法学部教授)
	渡辺美季 (東京大学大学院総合文化研究科准教授)

## 6. スポーツ研究センター

	氏名	所属	
所員	伊藤 マモル	法学部	
	荒井 弘和	文学部	副所長
	林 容市	文学部	
	杉本 龍勇	経済学部	所長
	山田 快	経済学部	
	越部 清美	社会学部	
	笠井 淳	経営学部	
	吉田 康伸	経営学部	
	中澤 史	国際文化学部	
	朝比奈 茂	人間環境学部	
	越智 英輔	生命科学部	副所長
	泉 重樹	スポーツ健康学部	
	清雲 栄純	スポーツ健康学部	
	高見 京太	スポーツ健康学部	
	永木 耕介	スポーツ健康学部	
	平野 裕一	スポーツ健康学部	
	山本 浩	スポーツ健康学部	
吉田 政幸	スポーツ健康学部		
井上 尊寛	スポーツ健康学部		
任期付専 任研究員	森嶋 琢真	専任講師	
客員所員	千葉 陽子	兼任講師	
	内田 遼介	近畿大学 農学部 非常勤講師	

金光興二教授 (理工学部) は「スポーツ研究センターが委嘱する本学教員」として委嘱

## 7. ボアソナード記念現代法研究所

### (1) 研究体制

研究所の運営は、所長のほか、各部門・プロジェクトの代表者を委員とする運営委員会によって進められている。運営委員会はおおよそ隔月で開催され、各プロジェクトの活動状況の報告のほか、研究所全体の運営方針を決定している。事務体制としては、常勤・非常勤の職員が各1名である。

#### 【運営委員会組織図】

所長（社会法）	浜村 彰（法学部教授）
法史学	高 友希子（法学部教授）
現代法システム	川村 洋子（法学部教授）
現代法システム	建石 真公子（法学部教授）
現代法システム	武生 昌士（法学部教授）
現代法システム	西田 幸介（法学部教授）
国際関係	森 聡（法学部教授）
都市法	荒谷 裕子（法学部教授）
ボアソナード関係資料収集委員会	川口 由彦（法学部教授）

### (2) プロジェクト

現在進行中のプロジェクトは以下の通りである。

- ① 判例を通じてみたイギリス法—歴史的経緯と現代の架け橋—（代表 高友希子）
- ② 「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律の逐条研究」（代表 川村洋子）
- ③ 「公的規制の法と政策 —ネットワーク産業を中心に—」（代表 武生昌士）
- ④ 「行政紛争の処理に関する適切な法の解明 —国家と個人の関係の現代的変容を背景として」（代表 西田幸介）
- ⑤ 「会社法と金融商品取引法との交錯とコーポレート・ガバナンス論の新展開」（代表 荒谷裕子）
- ⑥ 「クラウドソーシングの進展と社会法の近未来」（代表 浜村彰）
- ⑦ 「現代国際秩序における正統性の相克」（代表 森 聡）
- ⑧ 「現代国際社会における立憲主義をめぐる西欧と東アジアの対話」（代表 建石 真公子）

上記プロジェクトのほかに、継続的事業として、ボアソナード関係資料収集委員会がある。

#### 【プロジェクトメンバー表】

		所長	法学部教授	浜村 彰
法史学	高チーム	部門責任者・チーム主任・運営委員	法学部教授	高 友希子
		研究員	法学部教授	川村 洋子
		研究員	法学部教授	武生 昌士
		客員研究員	立教大学法学部教授	溜箭 将之
		客員研究員	神戸大学大学院法学研究科准教授	板持 研吾
社会法	浜村チーム	部門責任者・チーム主任・運営委員	法学部教授	浜村 彰

		研究員	法学部教授	沼田 雅之
		客員研究員	早稲田大学名誉教授	石田 眞
		客員研究員	早稲田大学 教授	竹内 寿
		客員研究員	中央大学 教授	米津 孝司
		客員研究員	茨城大学 准教授	鈴木 俊晴
		客員研究員	日本体育大学 非常勤講師	滝原 啓允
		客員研究員	山口大学 専任講師	井川 志郎
現代法システム	川村チーム	部門責任者・チーム主任・運営委員	法学部教授	川村 洋子
		研究員	法学部教授	大澤 彩
		研究員	大学院法務研究科教授	廣尾 勝彰
		研究員	大学院法務研究科教授	柴田 和史
		研究員	大学院法務研究科教授	明田川 昌幸
		客員研究員	慶應義塾大学法学部教授	柳 明昌
	建石チーム	チーム主任・運営委員	法学部教授	建石 真公子
		研究員	大学院法務研究科教授	赤坂 正浩
		客員研究員	名古屋大学教授・法政大学兼任講師	國分 典子
		客員研究員	関東学院大学教授	大内 憲昭
		客員研究員	中央大学教授	通山 昭治
		客員研究員	札幌学院大学教授	伊藤 雅康
		客員研究員	立教大学教授	原田 一明
		客員研究員	高知大学名誉教授	青木 宏治
		客員研究員	学校法人海陽学園 海陽中等教育学校教諭	濱野 靖一郎
		客員研究員	金沢星稜大学専任講師・法政大学兼任講師	土屋 仁美
	武生チーム	チーム主任・運営委員	法学部教授	武生 昌士
		研究員	法学部教授	廣瀬 克哉
		研究員	法学部教授	高橋 滋
		客員研究員	白鷗大学教授	栗田 誠
		客員研究員	新潟大学大学院教授	沢田 克己
		客員研究員	神奈川大学法学部教授	細田 孝一
		客員研究員	東洋大学法学部教授	多田 英明
		委嘱研究員	翻訳家	佐藤 久
	西田チーム	チーム主任・運営委員	法学部教授	西田 幸介
		客員研究員	法政大学名誉教授	浜川 清
		客員研究員	東北大学名誉教授	稲葉 馨
客員研究員		桜美林大学総合科学系 准教授	小泉 広子	
客員研究員		法政大学法学部 兼任講師	氏家 裕順	
客員研究員		参議院議員政策担当秘書	高橋 彰	
国際関係	森チーム	部門責任者・チーム主任・運営委員	法学部教授	森 聡
		研究員	法学部准教授	田中 佐代子
		研究員	法学部教授	福田 円
		研究員	グローバル教養学部教授	湯澤 武
都市法	荒谷チーム	部門責任者・チーム主任・運営委員	法学部教授	荒谷 裕子
		研究員	法学部教授	椽川 泰史
		客員研究員	慶應義塾大学法学部教授	柳 明昌
		客員研究員	京都大学法科大学院教授	齊藤 真紀

	客員研究員	中央大学法学部教授	野田 博
	客員研究員	青山学院大学大学院教授	町田 祥弘
	客員研究員	首都大学東京都市教養学部法学系准教授	顧 丹丹
	客員研究員	専修大学法学部専任講師	萬澤 陽子
	客員研究員	弁護士	田路 至弘
	客員研究員	三菱重工環境・化学エンジニアリング(株)取締役	保川 宏昭
ボアソナード関係資料収集委員会	部門責任者・運営委員	法学部教授	浜村 彰
	副責任者・運営委員	法学部教授	川口 由彦
	研究員	法学部教授	高 友希子
	研究員	法学部教授	大野 達司
	研究員	法学部教授	建石 真公子
	客員研究員	法政大学名誉教授・島根県立大学名誉教授	飯田 泰三
	客員研究員	法政大学名誉教授	河野 康子
	客員研究員	法政大学名誉教授	渡辺 浩
	客員研究員	学習院大学法学部教授	岡 孝
	客員研究員	松山大学法学部教授	銭 偉栄
	客員研究員	神戸学院大学法学部准教授	辻村 亮彦
	客員研究員	明治大学商学部教授	李 英美
	客員研究員	流通経済大学法学部教授	宮平 真弥
	客員研究員	山東大学法学院 教授	牟 憲魁
	客員研究員		江戸 恵子

## 8. イオンビーム工学研究所

### (1) 研究所の概要

加速器で発生するイオンビームの利用では2通りあります。1つは、固体中の原子によって散乱したイオンや、原子との衝突によって生ずるエックス線を観察することによる固体物質の分析であり、もう1つは、固体に異種のイオンを導入することによって、固体の電子的あるいは工学的な性質を改変しようとするものです。分析の分野では、超 LSI 材料のシリコンをはじめとして、III-V 族化合物半導体など、種々の方法で不純物を添加した半導体結晶中の不純物分布測定や、半導体結晶欠陥に関する研究が行われています。また、合金反応など複数の原子によって化合物が形成される反応過程の解析にもイオンビーム分析は有利な方法であり、半導体と金属との化合物の組織分析に関する研究も活発に進められています。固体の性質を改変する目的では、固体に種々のイオンを導入する事で、新しい機能を持った電子素子や、より速い電子素子を作成するための電子材料、あるいは、磨耗に強く、より潤滑性のある機械材料を作り出す努力が続けられています。

理工学部・生命科学部との協力による活発な研究活動により、イオンビーム工学の分野では、国際的にも注目される存在になりました。また、研究所では毎年、イオンビーム工学シンポジウムの名の、学術講演会を開催しています。これには、研究所、理工学部・生命科学部に加えて、国公立大学、国公立研究所、電気メーカーを中心とする民間機器メーカーの研究所などから常に100名以上の研究者が参加し、大きな成果をあげています。1987年には、本研究所主催によるイオンビーム工学国際シンポジウムが開催されました。これには、我が国の他アメリカ、イギリス、ドイツ、フランス、旧ソ連、その他の計10カ国から第一級の研究者が参加し、国際的にも高い評価を受けました。

本研究所の設備は、理工学部・生命科学部の学部生の卒業研究、博士前期(修士)課程、博士後期課程の大学院生の研究にも利用されており、特色ある研究者、技術者の育成にも協力しています。また、他大学、民間企業との共同研究も行える共同研究システムが準備されており、成果を上げています。

(2) 主要設備

a. [バンデグラフ加速器](#)

アメリカ Highvoltage Engineerring 社製のイオン加速器で、最大加速電圧は 250 万ボルト。主に、分析用の水素、ヘリウムのイオンビームを発生します。

b. [タンデム加速器](#)

日新ハイボルテージ社製のタンデム型イオン加速器で最大加速電圧は 150 万ボルト。平成 4 年度に文部省の私立大学研究設備助成を得て導入されました。半導体をはじめとする、固体材料へ不純物イオンを導入する（イオン打ち込み）実験に用いられています。

c. [その他の設備](#)

- ・クリーンルーム（実験試料の洗浄、フォトリソグラフィによる加工などに使用されています）
- ・エリプソメータ（半導体表面上に形成した薄膜の物性値の測定に使用されています）
- ・顕微レーザーラマン兼フォトルミネッセンス顕微鏡（物質のラマンスペクトルやフォトルミネッセンススペクトルの顕微マッピング測定に使用されています）

(3) 研究組織

研究所は、研究所専任教員と理工学部・生命科学部教員を中心とし、その他本学他学部教員、他大学教員とで構成されています。研究の推進、研究の新分野への展開、新しい研究設備の導入計画の立案などが真剣に検討されています。 (2018年5月1日現在)

所長	西村 智朗	イオンビーム工学研究所教授
所員	三島 友義	イオンビーム工学研究所教授
	新井 和吉	理工学部教授（機械工学科）
	平野 元久	理工学部教授（機械工学科）
	中村 俊博	理工学部准教授（電気電子工学科）
	春日 隆	理工学部教授（創生科学科）
	松尾 由賀利	理工学部教授（創生科学科）
	緒方 啓典	生命科学部教授（環境応用化学科）
	高井 和之	生命科学部教授（環境応用化学科）
	濱本 宏	生命科学部教授（応用植物科学科）
	小倉 淳一	文学部教授（史学科）
	中島 弘一	文学部教授（地理学科）
	目黒 多加志	東京理科大学教授
	中村 徹	マイクロ・ナノテクノロジー研究センター客員教授
	田沼 千秋	マイクロ・ナノテクノロジー研究センター客員教授
	栗山 一男	法政大学 名誉教授
	山本 康博	法政大学 名誉教授
浜中 廣見	元法政大学工学部教授	

	坂本 勲	元法政大学理工学部教授
客員研究員	村野 健太郎	元法政大学生命科学部教授
	百瀬 孝昌	ブリティッシュコロンビア大学教授
	吉野 理貴	法政大学兼任講師、明治大学兼任講師
事務局	西迫 理江子	

## 9. 比較経済研究所

### (1) 所員

比較研専任所員	所長	西澤 栄一郎	経済学部教授
	所員	小黒 一正	経済学部教授
	所員	菅原 琢磨	経済学部教授
運営委員		牧野 文夫	経済学部教授
		胥 鵬	経済学部教授
		杉本 龍勇	経済学部教授
		ブー トウン カイ	経済学部教授
		濱秋 純哉	経済学部准教授
		大木 良子	経営学部教授
		上林 千恵子	社会学部教授
		凶司 直也	現代福祉学部教授
兼任研究員		絵所 秀紀	客員研究員
		胥 鵬	経済学部教授
		宮崎 憲治	経済学部教授
		武智 一貴	経済学部教授
		濱秋 純哉	経済学部准教授
		近藤 章夫	経済学部教授
		篠原 隆介	経済学部准教授
		上林 千恵子	社会学部教授
兼任研究員		郡司 大志	大東文化大学経済学部教授
		三浦 一輝	常葉大学法学部准教授
		墨 昌芳	宮崎産業経営大学経営学科准教授
		蓮見 亮	日本経済研究センター
		上坂 豪	九州国際大学経済学部教授
		宇都宮 仁	新潟産業大学経済学部専任講師
		廉 東浩	仁川発展研究院
		袁 媛	知的財産研究所特別研究員
		猿山 純夫	日本経済研究センター
		佐藤 豊彦	財団法人東京都中小企業振興公社
		伊藤 暢洋	Gemsmith Partners 株式会社法律事務所
		平賀 一希	東海大学政治経済学部准教授
		近藤 春生	西南学院大学経済学部教授
		新井 泰弘	高知大学人文社会学部講師
		岩本 光一郎	愛知東邦大学経営学部准教授
		坂本 和靖	群馬大学社会情報学部准教授
		新関 剛史	愛媛大学法文学部講師
	村田 啓子	首都大学東京大学院社会科学部研究科教授	
	名方 佳寿子	摂南大学経済学部准教授	

	森脇 大輔	サイバーエージェント
	長谷部 弘道	杏林大学総合政策学部講師
	李 惠珍	日本国際交流センター
	木原 隆司	獨協大学経済学部教授
	稲垣 誠一	国際医療福祉大学教授
	島澤 諭	公益財団法人中部圏社会経済研究所
	和久津 尚彦	名古屋市立大学大学院経済学研究科講師
	中野 壮陸	公益財団法人医療機器センター附属医療機器産業研究所
	田村 誠	公益財団法人医療機器センター附属医療機器産業研究所
客員研究員	鶴見 誠良	法政大学名誉教授
	絵所 秀紀	法政大学名誉教授

(2) 研究プロジェクト (<http://www.hosei.ac.jp/ices/study/k01.html>)

## 10. イノベーション・マネジメント研究センター

(1) 研究組織

2018年度 イノベーション・マネジメント研究センター所員一覧 (2018年5月1日現在)

役職	氏名	所属
所長	李 瑞雪	イノベーション・マネジメント研究センター専任所員／経営学部教授
副所長	横山 斉理	イノベーション・マネジメント研究センター専任所員／経営学部教授
運営委員 (兼担所員)	木村 純子	経営学部教授
	山寄 輝	経営学部教授
	北田 皓嗣	経営学部准教授
	二階堂 行宣	経営学部准教授
	長谷川 直哉	人間環境学部教授
	吉田 一朗	理工学部専任講師
	豊田 裕貴	大学院イノベーション・マネジメント研究科教授
兼担所員	荒井 弘和	文学部教授
	梅津 亮子	経済学部教授
	糸久 正人	社会学部准教授
	加藤 寛之	社会学部教授
	洞口 治夫	経営学部教授
	神谷 健司	経営学部教授
	奥西 好夫	経営学部教授
兼担所員	福田 淳児	経営学部教授
	竹内 淑恵	経営学部教授
	金 容度	経営学部教授
	近能 善範	経営学部教授

	稲垣 京輔	経営学部教授
	児玉 靖司	経営学部教授
	福島 英史	経営学部教授
	佐野 嘉秀	経営学部教授
	小川 憲彦	経営学部教授
	田路 則子	経営学部教授
	安藤 直紀	経営学部教授
	坂上 学	経営学部教授
	新倉 貴士	経営学部教授
	西川 英彦	経営学部教授
	高橋 美穂子	経営学部教授
	長谷川 翔平	経営学部准教授
	永山 晋	経営学部准教授
	竹原 正篤	人間環境学部特任・任期付准教授
	土肥 将敦	現代福祉学部教授
	梅崎 修	キャリアデザイン学部教授
	浦谷 規	理工学部教授
	藤井 章博	理工学部教授
	新谷 優	グローバル教養学部教授
	井上 尊寛	スポーツ健康学部専任講師
	吉田 政幸	スポーツ健康学部准教授
	小川 孔輔	大学院イノベーション・マネジメント研究科特任・任期付教授
	高田 朝子	大学院イノベーション・マネジメント研究科教授
客員研究員	柳沼 壽	茨城キリスト教大学経営学部教授
	宇田川 勝	法政大学名誉教授
	矢作 敏行	法政大学名誉教授
	松島 茂	(東京理科大学教授)
	本條 晴一郎	静岡大学大学院工学領域事業開発マネジメント(MOT)系列准教授
	白井 明子	株式会社ローソン
	岩崎 達也	九州産業大学商学部教授
	田中 洋	中央大学大学院戦略経営研究科教授
	煤孫 統一郎	日本工学院専門学校教員
	CHOU Hung Chi	シンガポール国立大学ビジネススクール Adjunct Professor
	後藤 哲郎	日本アイ・ビー・エム株式会社
	安士 昌一郎	(大学院経営研究科博士後期課程満期取得退学 (法政大学))
客員研究員	鳥谷部 昭寛	株式会社野村総合研究所
	小林 幹直	株式会社ミックナイン、株式会社トラベルオンライン代表取締役
	牧野 恵美	東京理科大学経営学部准教授
	Emilie Ruiz	IREGE, University Savoie Mont Blanc

イノベーション・マネジメント研究センターは、所長、副所長、専任所員、兼担所員、兼任所員、客員研究員、事務職員から構成されています。2018年5月1日現在、内訳は所長（専任所員）1名、副所長（専任所員）1名、兼担所員41名、客員研究員16名です。

兼担所員については、本研究センターの事業に密接に関係ある者の中から運営委員会が選出し、あらかじめ該当教員の所属する教授会の議を経て本学総長が委嘱します。兼任所員および客員研究員については、本研究センターの目的に寄与し得る者の中からセンター専任所員または兼担所員の推薦に基づき、運営委員会の議を得て、総長が委嘱します。任期は兼担所員および兼任所員2年、客員研究員1年で再任を妨げません。所長、副所長は運営委員会において所員のうちから選出し、学部長会議の議を経て総長が委嘱します。任期はそれぞれ2年で再任を妨げません。

兼担所員の選出にあたっては、本研究センターにおいて求められる所員像として「イノベーション、情報、産業に係わる分野について真摯に研究活動に従事しているもの。過去5年間に著書（学術研究書）または複数の研究論文を有するもの。」と2010年度に具体化しました。

本研究センターの運営については、運営委員会で審議のうえ行っています。運営委員は、所長、副所長、兼担所員のうち若干名により構成されています。2018年度は、所長、副所長と兼担所員7名の計9名により運営されています。運営委員の任期として「運営委員の任期は2年で再任を妨げない。ただし、2期継続して運営委員の任にあたったものは、次の1年については運営委員に就任することはできない。また、運営委員の任期中に定年延長に入るものについてはその年の3月末日時点で運営委員を辞任する。」と2014年度から改正しました。

なお、各所員（研究スタッフ）のプロフィールや歴代スタッフは、本研究センターのホームページ「研究スタッフ」で公開しています（<http://riim.ws.hosei.ac.jp/staff.html>）。

## （2） 研究活動

本研究センターの研究活動は、研究プロジェクトを中心に、所員が主体的に実施し、その成果は研究書（叢書）、学術雑誌、ワーキングペーパー、調査報告書等の多様な形で学内外に公表されています。なお、2010年度より「法政大学イノベーション・マネジメント研究センター叢書」を創刊して、研究書を発行しています。

各研究プロジェクトは、所員が代表となり、関係する学内外の研究者をメンバーとして活動を行っています。その時々々の社会の要請に対応した研究を行い、研究課題も自主的、計画的、重点的に設定し、実施しています。研究プロジェクトの研究会活動を通して、公開講演会・シンポジウム等の開催、ワーキングペーパーや研究書等の刊行を行い、その研究成果を積極的に公表しています。

### 2018年度研究プロジェクト（18件）

- a. 戦後日本における鉄道事業経営史（二階堂行宣）
- b. 産業クラスターの知的多様性とグローバリゼーション—集合知経営の構築—（洞口治夫）
- c. 大学におけるスポーツに関連するCSR活動の調査研究（井上尊寛）
- d. ファイナンスと数理科学の融合（山寄輝）
- e. 企業家史研究会（長谷川直哉）
- f. 日仏労働市場の比較（奥西好夫）
- g. 新興国企業の国際化（安藤直紀）

- h. 地理的表示研究会（木村純子）
- i. 保険におけるフィンテック（浦谷規）
- j. 起業家教育プログラム研究会（田路則子）
- k. ロジスティクス・クラスター研究会（李瑞雪）
- l. ブランド・コミュニティ研究会（竹内淑恵）
- m. 機能横断型チームの形成史：トヨタ自動車を対象に（梅崎修）
- n. スポーツビジネスと社会的アイデンティティ：観戦者を対象とした多次元の尺度の開発（吉田政幸）
- o. スポーツコーチング・イノベーション研究会（荒井弘和）
- p. クラウドソーシング研究会（西川英彦）
- q. AIを用いた学習分析とその周辺に関するビジネス調査（児玉靖司）
- r. ESG 投資研究会（長谷川直哉）

ワーキングペーパーシリーズは、研究プロジェクトや所員の研究成果の一部、または講演会の内容を公表する際に発行しています（2013 年度より非売品）。発行件数は年間 10 件程度であり、一部を除き、PDF による全文公開を行っています。2015 年度 No. 162～171(10 件)、2016 年度 No. 172～176(5 件)、2017 年度 No. 177～190(14 件)を発行しました。

学術雑誌では、特筆すべき研究活動として、学内外を問わず広く投稿論文を募集し、学内外の専門家による掲載の可否を審査するレフェリー制度を導入しています。掲載種類は、論文、査読付き投稿論文、研究ノート、査読付き研究ノート、調査報告、資料、書評などです。査読付き投稿論文・研究ノートの掲載件数は、2015 年度（No. 13）論文 1 件、2016 年度（No. 14）論文 1 件、2017 年度（No. 15）論文 1 件でした。

研究書の出版に際しては、研究プロジェクトを中心に、所員の研究成果の公表を助成しています。2015 年度 2 件（叢書 11、12）、2016 年度 2 件（叢書 13、14）、2017 年度 2 件（叢書 15、16）が出版されました。

なお、各年度の発行内容等の詳細は、本研究センターのホームページ「研究」より公開しています（<http://riim.ws.hosei.ac.jp/research.html>）。

## 1 1. 国際日本学研究所

文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業への採択を受け、2010 年度からの 5 年計画で「国際日本学の方法に基づく〈日本意識〉の再検討—〈日本意識〉の過去・現在・未来」と題する研究を推進し、2015 年 3 月 31 日をもって当事業は終了いたしました。

今後は、上記研究課題をベースとし、日本研究のさらなる国際化と一層の発展に努めていきます。

その一環として、2014 年度には「在欧博物館等保管日本仏教美術資料データベース」を、2015 年 4 月には「法政大学国際日本学研究所所蔵資料アーカイブス」を開設して研究者及び市民へと公開し、当研究所の研究成果を学界と社会に還元しています。また、2015 年 4 月には外国の研究機関に所属する若手研究者の日本研究を奨励するため、2014 年 7 月にヨーゼフ・クライナー博士記念・法政大学国際日本学賞を創設しました。毎年、海外からの応募論文を受け付けることにしており、2015 年 12 月に第 1 回の受賞者の表彰と記念式典を開催し、2017 年 1 月には第 2 回の受賞者の表彰を行いました。現在も引

き続き毎年応募論文を募集中です。

また本研究所とエコ地域デザイン研究センターを主たる母体として設立された江戸東京研究センターには本研究所の多くのメンバーが参画し、センター長やプロジェクトリーダーとして、私立大学研究ブランディング事業「江戸東京研究の先端的・学際的拠点形成」を組織的に支える態勢を構築しました。

(1) 研究組織

2018年度 国際日本学研究所 所員一覧

(2018年5月1日現在)

役職名	運営委員	氏名	所属等
所長	○	小口 雅史	法政大学文学部教授
専任所員	○	王 敏	法政大学国際日本学研究所教授
兼担所員	○	菱田 雅晴	法政大学法学部教授
	○	星野 勉	法政大学文学部教授
	○	安孫子 信	法政大学文学部教授
	○	小口 雅史	法政大学文学部教授
	○	小林 ふみ子	法政大学文学部教授
	○	米家 志乃布	法政大学文学部教授
	○	大塚 紀弘	法政大学文学部専任講師
	○	松本 剣志郎	法政大学文学部専任講師
	○	山本 真鳥	法政大学経済学部教授
	○	田中 優子	法政大学総長・社会学部教授
	○	高柳 俊男	法政大学国際文化学部教授
	○	曾 士才	法政大学国際文化学部教授
	○	竹内 晶子	法政大学国際文化学部教授
	○	衣笠 正晃	法政大学国際文化学部教授
	○	板橋 美也	法政大学人間環境学部准教授
	○	横山 泰子	法政大学理工学部教授
兼任所員		山中 玲子	野上記念法政大学能楽研究所所長・教授
		宮本 圭造	野上記念法政大学能楽研究所専任所員・教授
兼任所員		今野 農	法政大学キャリアデザイン学部兼任講師
客員所員		ジョセフ・A・キブルツ	フランス国立科学研究院東アジア文明研究センター元教授
		ローザ・カーロリ	ヴェネツィア カ・フォスカリ大学言語・比較文化学部副教授
		桑山 敬己	関西学院大学社会学部教授
		島田 信吾	デュッセルドルフ大学現代日本研究所教授
		崔 世廣	厦門大学外文学院講座教授
		川田 順造	神奈川大学特別招聘教授 神奈川大学日本常民文化研究所客員研究員
		根津 朝彦	立命館大学産業社会学部准教授
		延広 真治	東京大学名誉教授

	高橋 悠介	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫准教授
	堀内・アニック・美都	パリ・デイドロ (パリ第7) 大学東アジア言語・文化学部教授
	濱田 陽	帝京大学文学部日本文化学科准教授
	シュタイネック・智恵・イレーネ・マリア	チューリッヒ大学東洋学科日本学部門客員研究員 チュービンゲン大学日本学部門博士候補
	大木 康	東京大学東洋文化研究所教授
	井上 亘	常葉大学教育学部教授
	尹 虎	浙江工商大学東亜研究院研究員
	陳 毅立	同済大学日本学研究所副所長、准教授
	福田 安典	日本女子大学文学部教授
	彬子女王	京都産業大学日本文化研究所研究員 京都市立芸術大学芸術資源研究センター特別招聘研究員並びに同大学客員教授 学習院大学国際研究教育機構客員研究員 立命館大学衣笠総合研究機構客員協力研究員 國學院大學特別招聘教授
	ヨーゼフ・クライナー	ボン大学名誉教授 東京国立博物館客員研究員
	臧 佩紅	南開大学日本研究院准教授
	李 聖傑	武漢大学外国語文学学院副教授
	前島 志保	東京大学大学院総合文化研究科准教授
	安井 裕司	日本経済大学経済学部商学科教授
	佐々木 利和	北海道大学アイヌ・先住民研究センター客員教授 東京国立博物館名誉館員
	春名 展生	東京外国語大学大学院国際日本学研究院准教授
	漆原 拓也	一般社団法人日本漆工協会事務局長
	露木 順一	日本大学総合科学研究所教授
	サルキソフ コンスタンチン	ロシア科学アカデミー東洋学研究所日本研究センター主任研究員
学術研究員	金 英美	法政大学大学院社会学研究科社会学専攻国際日本学インスティテュート博士後期課程
	羅 莎	法政大学大学院人文科学研究科史学専攻国際日本学インスティテュート博士後期課程
	藤田 智子	法政大学大学院人文科学研究科日本文学専攻国際日本学インスティテュート博士後期課程
	古賀 通予	法政大学大学院人文科学研究科史学専攻国際日本学インスティテュート博士後期課程
	李 紹楠	法政大学大学院人文科学研究科日本文学専攻国際日本学インスティテュート博士後期課程
	マスキオ・パオラ	法政大学大学院人文科学研究科日本文学専攻国際日本学インスティテュート博士後期課程
	浦部 哲郎	法政大学大学院人文科学研究科日本文学専攻国際日本学インスティテュート博士後期課程
	劉 釗	法政大学大学院人文科学研究科日本文学専攻国際日本学インスティテュート博士後期課程
	クセニア・デシャテニコワ	法政大学大学院人文科学研究科日本文学専攻国際日本学インスティテュート博士後期課程

客員学術研究員		鈴木 裕輔	法政大学社会学部兼任講師
		彭 丹	法政大学社会学部兼任講師 大本山建長寺研究員
		李 珣淑	帝京大学外国語学部非常勤講師 (財)韓中日比較文化研究所客員研究員
		李 潤沢	株式会社英知ワールドアカデミー常務取締役
		マートライ・ティタニラ	早稲田大学演劇博物館研究員
		山梨 牧子	トリア大学講師
		マリアンナ・ザネッタ	トリノ大学文化・政治・社会学部・研究員
		内原 英聡	法政大学沖縄文化研究所国内研究員 フリー編集記者
		川崎 瑛子	日本調剤株式会社薬剤師
		ヤナ・ウルバノヴァー	元・コメニウス大学東アジア研究科助教授
		宗意 和代	法政大学大学院社会学研究科社会学専攻国際日本学 インスティテュート博士後期課程修了
		張 晟喜	方定換研究所韓日交流委員会委員
		犬塚 悠	東京大学大学院学際情報学府学際情報学専攻博士 課程在籍
		イルマ・サウインドラ・ヤンティ	インドネシア大学人文科学部講師
		ハルミルザエヴァ・サイダ	法政大学非常勤講師 (2018年度秋学期) 青山学院大学非常勤講師 (2018年度秋学期)
	朴 庚卿	韓中日比較文化研究所 (韓国) 海外研究員	

## 12. 地域研究センター

2018年度 地域研究センター所員一覧 (2018年5月1日現在)

役職	氏名	所属
センター長 (運営委員)	小林 尚登	デザイン工学部教授
兼任研究員 (運営委員)	樋口 一清	大学院政策創造研究科教授
	松本 敦則	専門職大学院イノベーション・マネジメント研究科准教授
	田路 則子	経営学部教授
	田口 博雄	社会学部教授
	田中 充	社会学部教授
	上山 肇	大学院政策創造研究科教授
	笹川 孝一	キャリアデザイン学部教授
特任研究員 B (運営委員)	岡本 義行	大正大学地域創生学部教授, 前地域研究センター長, 前大学院政策創造研究科教授
客員研究員 (運営委員)	小門 裕幸	前キャリアデザイン学部教授
	石神 隆	前人間環境学部教授
客員研究員	石山 恒貴	大学院政策創造研究科教授
	小川 孔輔	専門職大学院イノベーション・マネジメント研究科教授
	近藤 章夫	比較経済研究所教授

	安田 彰	理工学部教授
	陣内 秀信	デザイン工学部名誉教授，前エコ地域デザイン研究センター長，前江戸東京研究センター長

## (2) 研究活動

本研究センターの研究活動は、研究プロジェクトを中心に、所員が主体的に実施し、その成果は研究書、学術雑誌、調査報告書等の多様な形で学内外に公表されています。各研究プロジェクトは、所員が代表となり、学内だけではなく、地域に出て、公開講演会・シンポジウム等を開催したり、遠隔講義を実施するなどし、その研究成果を報告書にまとめ、公表したりしています。

## 2017 年度の主な取り組み（予定）

- a. 地域に関するシンポジウム（開催日未定）の開催
- b. 自治体トップ交流会（円卓会議）：センターと連携する市町村長を招いて、地域活性化と行政の役割を議論する。
- c. 『地域活性化のメカニズムと政策の研究』の集大成として、関係書籍の出版
- d. 岡山県鏡野町の農林業に関する政策提言
- e. 自治体からの依頼にもとづく調査研究の実施

なお、2007 年度より「法政大学地域イノベーション（紀要）」を創刊し、現在は 9 号を（0 号から発行）数え、HP 上で PDF による全文公開も行っています。地域活性化および地域政策などに関するテーマで、学内外を問わず広く投稿論文を募集し、学内外の専門家による掲載の可否を審査するレフェリー制度を導入しています。投稿論文の種類は、研究論文、査読付研究論文、研究ノート、査読付研究ノート、事例研究、査読付事例研究、その他です。

## 1 3. マイクロ・ナノテクノロジー研究センター

### (1) 研究所の概要

マイクロ・ナノテクノロジー研究センターは 2003 年度に設置されました。2013 年度に、「グリーンテクノロジーを支える次世代エネルギー変換システム」に関する研究課題が、文部科学省の「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」に採択され、環境低負荷な先端化学プロセス技術・超微細加工技術、高効率光電変換デバイスの開発、分子レベルの生物エネルギー変換機構の解明、高エネルギー効率の演算・駆動デバイスの提案を基盤として、資源的な制約のない材料を利用する再生可能エネルギー技術、未知の応用分野に対応する低負荷エネルギーデバイス創製、生体利用エネルギー源、植物系バイオマス・細菌・光機能材料を利用したハイブリッドな資源再利用技術・環境浄化技術などの「グリーンテクノロジー」技術を開発し、高効率エネルギー利用技術に基づくデバイスへの応用の基盤とするエコソリューション技術の開発を行うことを目指しています。

研究員は、理工学部、生命科学部、デザイン工学部の専任教員から選ばれた 16 名の兼担研究員の他に、約 10 名の客員研究員から構成されています。

開設当時から最先端の性能を誇る大型設備を備え、それらは研究員のみならず、大学院生や学部生の研究や実験にも大いに利用され、大学の研究や教育に多大な貢献を果たしています。

ホームページの充実、公開型のセミナーの開催、オープンキャンパスなどでの研究センターの紹介を通じて、積極的に情報発信を行っています。

## (2) 主要設備

### a. 顕微ラマン分光装置

顕微ラマン分光装置は、レーザーラマン分光法により分子内の特別な振動モードを検出して、グリーンテクノロジー関連材料中の構成物質を解析します。レーザービーム走査機構を搭載し、試料中のサブミクロンオーダーの微小領域の結晶構造、分子構造の解析、局所分布の分析が可能です。

### b. 光合成電子伝達反応解析システム

光合成電子伝達反応解析システムは、光合成色素に由来する蛍光変化や電子伝達成分に特有な波長の光の吸収変化を追跡することで、光合成装置の様々な構成成分の電子伝達活性を非破壊的に解析・評価することができる優れた装置です。

### c. 積層成型機

積層成型機は、プロジェクタによる一括面露光により、業界最速クラスの成型速度を有しています。また、ゴムライク材など、マルチ材料に柔軟に対応し、3D プリンティングによるエコソリューションを実現します。

## (3) 研究組織

センター長	石垣 隆正	生命科学部環境応用化学科	教授
事務室長	碓井 正博	研究開発センター	部長
兼任研究員	明石 孝也	生命科学部環境応用化学科	教授
兼任研究員	緒方 啓典	生命科学部環境応用化学科	教授
兼任研究員	曾和 義幸	生命科学部生命機能学科	准教授
兼任研究員	三島 友義	イオンビーム工学研究所	教授
兼任研究員	水澤 直樹	生命科学部生命機能学科	教授
兼任研究員	石垣 隆正	生命科学部環境応用化学科	教授
兼任研究員	佐藤 勉	生命科学部生命機能学科	教授
兼任研究員	杉山 賢次	生命科学部環境応用化学科	教授
兼任研究員	山本 兼由	生命科学部生命機能学科	教授
兼任研究員	田中 豊	デザイン工学部システムデザイン学科	教授
兼任研究員	御法川 学	理工学部機械工学科	教授
兼任研究員	辻田 星歩	理工学部機械工学科	教授
兼任研究員	安田 彰	理工学部電気電子工学科	教授
兼任研究員	三浦 孝夫	理工学部創生科学科	教授
兼任研究員	川岸 郁朗	生命科学部生命機能学科	教授
兼任研究員	常重 アントニオ	生命科学部生命機能学科	教授
客員研究員	中村 徹		客員教授
客員研究員	木村 啓作		客員教授
客員研究員	守吉 佑介		客員教授

客員研究員	田沼 千秋		客員教授
客員研究員	石浜 明		客員教授
客員研究員	打越 哲郎		客員教授
客員研究員	松川 豊		客員准教授
客員研究員	石黒 亮		客員准教授
客員研究員	鈴木 祥太		客員講師
客員研究員	苗加 彰		客員講師
客員研究員	田島 寛隆		客員講師

## 14. サステナビリティ研究センター

### (1) 研究活動

エネルギー戦略シフトとは、省エネルギー、原子力依存度の低減、化石燃料の長期的削減、自然エネルギーの積極的増大を四つの柱として、これらを適切に組み合わせることによって、エネルギー問題、環境問題、地域振興問題に対処しつつ、サステイナブルな社会を形成していくための大局的な政策の方向付けです。日本社会が、東日本大震災の被害・打撃を克服し、エネルギーの自立的確保を基盤に、地域経済と国民経済を再強化し、21世紀に新しい発展の展望を得るためには、この方向での社会変革の推進が不可欠です。その具体化のためには、さまざまな政策的課題群があり、それに効果的に取り組むことに貢献すべく、五つのアプローチを組み合わせながら、学際的な探究に取り組んでいます。

### (2) 研究プロジェクト

研究プロジェクトの詳細は、以下研究所ホームページをご参照ください。

<http://www.sustenaken.hosei.ac.jp/>

### (3) 研究組織と運営

本研究センターの運営は、運営委員会で審議のうえ行っています。運営委員は、センター長、兼担研究員により構成されています。

役職名	氏名	所属等	
センター長	長谷部俊治	社会学部	教授
	小林直毅	社会学部	教授
兼担研究員	常盤祐司	情報メディア教育研究センター	教授
	清水善仁	大原社会問題研究所	准教授
客員研究員	壽福眞美	法政大学	名誉教授
	白井信雄	山陽学園大学	教授
	谷口信雄	東京大学先端科学技術センター	特任研究員

## 15. エコ地域デザイン研究センター

エコ地域デザイン研究センター (<http://eco-history.ws.hosei.ac.jp/>)

(1) 研究メンバー

<http://eco-history.ws.hosei.ac.jp/06mem/06member.html>

(2) 研究体制

<http://eco-history.ws.hosei.ac.jp/03prj/03project.html>

## 16. 江戸東京研究センター

(1) 研究体制

研究センターの運営（事業計画及び研究・調査，管理及び運営に関すること等）を審議するために運営委員会を置き，月1回開催している。運営委員会は，運営委員（センター長，研究プロジェクト・リーダー，兼担研究員，任期付専任研究員，その他センター長が必要と認めた者）により構成されている。

事務組織は，研究開発センター サステナビリティ実践知研究機構事務課が分掌している。

(2) 研究プロジェクト及び研究プロジェクト・リーダー

- a 水都ー基層構造（高村 雅彦）
- b 江戸東京の「ユニークさ」（横山 泰子）
- c テクノロジーとアート（安孫子 信）
- d 都市東京の近未来（北山 恒）

(3) 2018年度所員一覧（2018年5月1日現在）

役職名	氏名	身分	所属等
研究プロジェクト・リーダー	高村 雅彦	教授	デザイン工学部建築学科
	横山 泰子	教授	理工学部創生科学科
	安孫子 信	教授	文学部哲学科
	北山 恒	教授	デザイン工学部建築学科
兼担研究員	赤松 佳珠子	教授	デザイン工学部建築学科
	岩佐 明彦	教授	デザイン工学部建築学科
	岡村 民夫	教授	国際文化学部国際文化学科
	小口 雅史	教授	文学部史学科
	川久保 俊	准教授	デザイン工学部建築学科
	衣笠 正晃	教授	国際文化学部国際文化学科
	小林 ふみ子	教授	文学部日本文学科
	米家 志乃布	教授	文学部地理学科
	下吹越 武人	教授	デザイン工学部建築学科

曾 士才	教授	国際文化学部国際文化学科
高見 公雄	教授	デザイン工学部都市環境デザイン工学科
田中 優子	教授	総長／社会学部メディア社会学科
出口 清孝	教授	デザイン工学部建築学科
中丸 宣明	教授	文学部日本文学科
根崎 光男	教授	人間環境学部人間環境学科
長谷部 俊治	教授	社会学部社会政策科学科
福井 恒明	教授	デザイン工学部都市環境デザイン工学科
星野 勉	教授	文学部哲学科
松本 剣志郎	専任講師	文学部史学科
山本 真鳥	教授	経済学部経済学科
渡邊 眞理	教授	デザイン工学部建築学科
王 敏	教授	国際日本学研究所

役職名	氏名	身分
特任研究員 B	陣内 秀信	特任教授
客員研究員	石神 隆	客員教授
	石渡 雄士	客員講師
	稲益 祐太	客員講師
	神谷 博	客員講師
	高道 昌志	客員講師
	皆川 典久	客員講師
	犬塚 悠	客員講師
	川添 裕	客員教授
	眞島 望	客員講師
	川田 順造	客員教授
	河野 哲也	客員教授
	白石 さや	客員教授
	鈴木 裕輔	客員講師
	大野 秀敏	客員教授
	織山 和久	客員教授
	仲 俊治	客員准教授
山道 拓人	客員講師	
松本 文夫	客員教授	

特別研究員	GOTTA Federica	—
研究補助員	金谷 匡高	—